



〈会員の窓 15〉

もうひとつの楽しみ方

第五代*会長 道廣 一利

会長を仰せつかり7年目を終えようとしております。本会は年間行事として、1)春のイベント2)ホテル鑑賞会3)夏のイベント4)秋のイベント5)総会を兼ねた新年会6)淀川討論会の六つの行事を主催または共催しています。個人的に興味をもって参加させて頂いているのは特に1)3)4)であり、これらはいずれも河や山に足を運び直接自然に触れることができるからです。私の専門は地盤関係ということもあり、河に行けば川底にある「土：ほとんどが砂」を確認することであり、この砂質を触り見るだけで河の流れ(流速)が分かり、更に上流側の地質も概ね判定できます。自宅に帰り訪問した場所の地形図や地質・地盤図を見ることにより、推測したメモの内容が正しかったかどうかを確認することを一つの楽しみとしています。山では岩石の種類や地形に注目しています。なかでも、南丹市日吉町での見学での「褶曲」と「断層」は見事なものであり感動したことを今でも鮮明に記憶しています。また、各地を訪問したときの「墓石」にも興味をもっています。関西の「墓石」は白っぽい色のものが殆どですが(花崗岩)、宮城県の稲井石(粘板岩)、泥冠岩(安山岩)、福島県の鍋黒石や浮金石(黒みかげ石)、関東地方では神奈川県の小松石(安山岩)、山梨県の山崎石(安山岩)など黒っぽい「墓石」(安山岩・粘板岩・玄武岩)が主流です。京都北部にもちらほらと黒っぽい「墓石」が見受けられます。このように墓石の色を見れば、概ねその地方で多く産出される岩石が判明し、楽しみながら勉強もさせていただいております。

今回、寄稿にあたり「YODORIC NEWS」全てのバックナンバーを再度読ませていただき感じたことですが、各種イベントの参加団体・参加者も年々多くなり、淀川愛好会のキャッチフレーズである「活かそう水辺、つなごう流れ」が、年を追うごとに充実したものになってきていることです。このように淀川愛好会がここまで発展してきたのは、本会の発足者である澤井健二先生のひとかたならぬ熱意・努力の賜であることは申すまでもありませんが、淀川愛好会の会員、エコシビル部員、澤井ゼミの学生諸君のひたむきな活動があつてこそであり、この紙面をお借りして感謝の意を表します。

最後になりましたが、2013年7月27日(土)・28日(日)に開催された近畿水環境交流会 in 由良川・福知山での二日目のメイン会場(写真：音無瀬橋左岸下流)として使用した同じ場所で、8月15日に開催された「福知山花火大会」において死者3名(負傷者59名)を出す事故がありました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。



近畿水環境交流会を行った、音無瀬橋左岸の由良川河川敷

*2007～現在 (摂南大学理工学部 都市環境工学科教授 地盤工学)

イベント案内(1)

海老瀬教授・澤井教授 退職記念講演会 (兼 第16回 淀川討論会)

日時： 2014年3月8日(土) 14時～17時(懇親会は17時～) 場所： 摂南大学寝屋川キャンパス11号館

講師： 海老瀬潜一教授(淀川愛好会第三代会長)・澤井健二教授(淀川愛好会総務担当)

(詳細は折込ページをご覧ください)

イベント報告

淀川流域天然アユの見聞・天然アユの味くらべ

9月22日(日)に「第3回 淀川流域【天然アユ】の見聞フォーラム」(主催:桂川流域ネットワーク・京の川の恵みを活かす会)が京都嵯峨芸術大学・粟原(ふしはら)キャンパス(嵐山)で開催されました。午前中は、高橋勇夫氏(たかはし河川生物調査事務所)による講演が、午後は、漁業関係者・研究者・行政・市民の諸団体による「天然アユの淀川流域への遡上およびそのメリット」に関するパネルディスカッションが行われました。

また9月29日(日)には「天然アユの味くらべ」が京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーで行われました。アユの大きさ、香り、味そして食感、獲れた地域によってかなり異なっていました。参加した私たちも、天然アユのあまりのおいしさにびっくりして、気がつくまで舌鼓を打ち続けていました。

猪名川・藻川水辺まつり

9月22日(日)に尼崎市の藻川で行われた「第10回 猪名川・藻川水辺まつり」(主催:猪名川・藻川の清流復元フォーラム・水辺まつり実行委員会)に参加しました。イベントでは、ブラスバンドのマーチング(尼崎東高校)やステージでの催しに加え、様々な出店が並び、水辺ではいかだや葦(あし)で作った船の乗船など、全体で約1000人が参加していました。その内Eボートには約100人もの方に乗船していただきました。

台風18号の影響により増水し流れが強く、子どもの力では前進することが難しかったので、私たちが川に入り補助することで安全に乗船を行い、楽しんでもらいました。

尼崎運河博覧会 2013

10月6日(日)に尼崎市の尼崎北堀運河で「尼崎運河博覧会 2013」が行われました。

Eボートの乗船体験(30分間)では、約50名の方に乗船していただきました。遊歩道では出店やライブ、高校生による吹奏楽の演奏、そのほかにもタンデム自転車やパドルボード体験、名物の ama バーガー、クルーズ企画など様々な出し物があり賑やかな催しとなりました。パドルボードは不安定で、立ちながら漕ぐのが難しかったですが、とてもスリルがあり E ボートと違った楽しさを感じました。

水都☆大阪 リバークリーンアップキャンペーン

10月13日(日)・14日(月)に道頓堀川の湊町リバープレイス前で「水都☆大阪 リバークリーンアップキャンペーン」(主催:ダイビング大阪)が行われました。この活動は水都大阪の事業の一部で、水都大阪とは大阪の都市部を囲む川を「水の回廊」と位置づけて、船着き場の整備や水辺周辺のライトアップなどにより、水辺のにぎわいを取り戻そうとするプロジェクトです。

参加者は1日目74名、2日目79名で、Eボートを使って湊町船着き場から戎橋周辺の水域の清掃を行いました。また、陸上では湊町リバープレイス前広場の清掃を行いました。

2日間とも快晴で、楽しく清掃を行うことができました。汚いイメージのある道頓堀川もこのような取り組みによってよい水辺になればと思います。



高橋勇夫氏による講演



U字溝を火床として
鮎を焼く様子



藻川の河原で遊ぶ
子ども達



Eボートとパドルボード
の並走



リバープレイス前での
集合写真

水都大阪フェス2013

10月19日（土）に大阪府中之島で行われた「水都大阪フェス2013」（中之島ゲートフロンティアパーク運営委員会）に参加しました。このイベントは、大阪市中央卸売市場前港周辺における川・水辺・まちの回遊性向上を目的としたイベントで、私達もEボート乗船を行いました。他にも、パドルボードや地元の特産品を取り扱った飲食スペース等が設けられていました。当日は天候が悪く、乗船者も少なかったですが、それでも親子連れの方が笑顔で楽しかったと言ってくれたのでよかったです。



中之島での乗船活動

出合いの島フェスタ 豆島めぐり

10月27日（日）に尼崎市の猪名川と藻川の合流部剣先にある豆島の周辺で「出合いの島フェスタ」が開催され、Eボート乗船を行いました。本部付近ではクラシック音楽演奏やオープンカフェやパドルボードなどが行われていました。ここは河川改修の際に周辺の景観や生物環境のために島として残された空間です。外来植物が多く繁茂しているため、今後は駆除活動等を活発に行っていくようです。



豆島を回るパドルボード

第4回 横大路桂川・草津みなとフェスティバル

10月27日（日）に京都市桂川の羽東師橋左岸で「草津みなと鱧海道祭り」が行われました。伏見区横大路地域の活性化のために行われているイベントで、周辺地域の団体からも多くのブースが設けられていました。数日前の雨の影響によりEボート乗船は中止となりましたが、会場では中学・高校生の吹奏楽部の演奏や横大路消防分団による放水の実演などの催しがありました。その他にも、はも汁、ちりめんじゃこのつかみ取りや京野菜の販売などのお店があり、イベントは大盛況でした。



消防団による放水の実演

第4回 大和川源流探訪 布留川源流で学ぼうバスツアー

11月17日（日）に「第4回大和川源流探訪 布留川源流で学ぼうバスツアー」（主催：大和川市民ネットワーク）が行われ、59名の方が参加しました。午前中はまず、丹波市小学校前の布留川本川と、布留川南流でホタル生息地やホタル護岸を観察しました。ここでは布留川の改修工事に伴い減少したホタルがその後の清掃活動や、丹波市小学校の児童と協力したホタルの再生活動、ホタル護岸の整備によって個体数が工事前の数まで増加しています。そうした「保護」ではなく「保全」を考えた活動についての話をお聞きました。その後、黒門前で2007年度より剪定方法を改め再生されたすばらしい風景のイチョウ並木を見た後、石上神宮を見学しました。午後からは、手作り工房「木の子村」で源流の森の散策を行い、布留川の源流とその里山を見ました。散策と周辺里山の話聞き、源流部での保全活動の重要性や、取り組みの素晴らしさを改めて学びました。



ホタル護岸が整備された布留川



黒門前の再生されたイチョウ並木

第6回 茨田イチョウまつり

11月23日（土）に寝屋川市点野地区で「茨田イチョウまつり」（主催：淀川管内河川レンジャー他）が行なわれました。午前中はEボート乗船を行い、午後からは「秋の実りを食べる会」としてギンナン・いもごはんや焼きギンナン・ふかしいも等の食事がふるまわれました。昼食をとりながら各団体の活動紹介を聴き、クイズラリーや草花補植を行いました。今年は天候に恵まれ、例年に比べ暖かくて過ごしやすーい一日となりました。



淀川左岸幹線水路での
Eボート乗船体験

イベント案内(2)

淀川愛好会 総会・新年会 2014

淀川愛好会の総会・新年会を下記のように企画いたしました。多数のご参加をお待ちしております。

日時：2014年1月11日(土) 18:00～20:00

会場：酒処かつみ 寝屋川市東大利町4-15(元 大安寿司の向かい)

京阪本線 寝屋川市駅から西へ200m

参加費：3000円

申込先：淀川愛好会事務局

申込〆切：1月6日(月)



〈会員の窓 16〉

川との出会い…それから

田中 宗繁

私は、摂南大学に入学してエコシビル部に入り、淀川愛好会の活動に参加するようになってから、川に親しみを持つことができました。子供の頃は川に近づくこともなかったし、高校生の頃は、土木の橋のことや測量のことばかり考えていました。そんな私がどうして今、好んで川に接する人間になったのか。『なりゆき』と言ってしまえばそれまでですが、エコシビル部に入ったのも、数ある大学の部活の中で一番土木っぽかったからです。そして、私が川に近づいたのは、何より自然の中で心を落ち着かせるからです。川を通じてでしか知り合えなかった人も大勢います。その方々に川の楽しみかたを教えてもらうことで、川によりのめり込むようになりました。私は、「今ある川を人に力を与えられるようなものにしたい」、そういう思いで公務員を目指しました。そして、就職活動や研究で行き詰ってしまった時も、川で活動し始めた頃のことを思い出し、活力にしています。来年の3月には大学を卒業し、長岡京市に就職します。次は行政の立場で、この淀川愛好会を含め市民の方々と共に、私が始めに感じた心落ち着かせる空間を作って行きたいと思います。

(摂南大学理工学部 都市環境工学科 4回生)

会員募集・寄稿のお願い

淀川愛好会では、淀川に興味・関心のある方のご入会をお待ちしています。ご入会を希望される方は淀川愛好会事務局へ随時ご連絡ください。また、「会員の窓」も随時募集しています。

編集後記

大和川源流探訪に今年も参加しました。佐藤孝則天理大学教授、川波太天理高校教諭、黒田伊彦元大阪樟蔭女子大学講師、そして澤井健二教授の分かりやすい案内で、楽しい、有意義な一日を過ごせました。

「木の子村」農場傍の里山は、私の遠い昔のふる里(山口県)の山と重なった。当時私は、親に言いつけられてよく近くの雑木林で“すくど”(落ちた枯れ松葉)や枯れ枝をかき集め、風呂を炊かされたものだ。昔の生活は、里山に支えられ、そして里山を支えていたのですね。

現在、里山の再生が各地で細々と試みられていますが、これでは環境の保全、ひいては保護対策には不十分だと思います。全世界で地球環境の保全・保護に取り組まない限り、いつ起こるか予測のできない地球気候変動の tipping point への不安はずっと続くのではないかと。

編集長 相本太刀夫(元摂南大学薬学部教授)

淀川愛好会事務局：〒572-8508 寝屋川市池田中町 17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科内

TEL/FAX：072-839-9124 携帯電話：090-2196-9594 (澤井)

HP：<http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodorice>

E-mail：sawai@civ.setsunan.ac.jp (澤井) または 081077ms@edu.setsunan.ac.jp (正岡)

海老瀬教授・澤井教授 退職記念講演会（兼 第16回 淀川討論会）

主催：摂南大学理工学部都市環境工学科・淀川愛好会

摂南大学に長年ご勤務になられた海老瀬潜一教授と澤井健二教授が、今年度末をもってご退職になります。摂南大学理工学部都市環境工学科では、淀川愛好会と共催で、両先生の退職記念講演会を下記の要領で企画致しました。

つきましては、多数の皆様のご参加をお願い致します。

記

日時： 2014年3月8日（土）14:00~17:00（17:00~19:00 懇親会）

場所： 摂南大学寝屋川キャンパス 11号館5階1152号室（懇親会は11階スカイラウンジ）
（京阪電車「寝屋川市」駅から京阪バスで約12分または、
JR「茨木」駅・阪急電車「茨木市」駅より京阪バスで約30分、摂南大学下車）

プログラム

司会 道廣一利（摂南大学理工学部都市環境工学科教授、淀川愛好会会長）

14:00~14:05

挨拶 熊谷樹一郎（摂南大学理工学部都市環境工学科教授、学科長）

14:05~15:05

海老瀬潜一教授退職記念講演

「水環境のフィールド調査研究の45年間を振り返って」

15:05~15:15

休憩

15:15~16:15

澤井健二教授退職記念講演

「一活かそう水辺、つなごう流れー 近畿の水辺交流支援に没頭した20年の歩み」

16:15~17:00

総合討論

なお、討論会終了後、11号館11階スカイラウンジにおいて懇親会（会費3000円）を催します。

参加申し込み：

準備の都合がありますので、参加者は参加区分を添えて、ご所属とお名前、連絡先を2月28日までに下記までお知らせください。

1. 講演会・懇親会とも出席
2. 講演会のみ出席
3. 懇親会のみ出席

連絡先：〒572-8508 寝屋川市池田中町17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科

Tel/Fax 072-839-9126 E-mail michi@civ.setsunan.ac.jp

海老瀬教授・澤井教授 退職記念講演会 (兼 第16回 淀川討論会)

参加申込書

氏名

所属

連絡先

討論会に () 参加 () 不参加

懇親会に () 参加 () 不参加

氏名

所属

連絡先

討論会に () 参加 () 不参加

懇親会に () 参加 () 不参加

氏名

所属

連絡先

討論会に () 参加 () 不参加

懇親会に () 参加 () 不参加

氏名

所属

連絡先

討論会に () 参加 () 不参加

懇親会に () 参加 () 不参加